



光輝く轟の芽

V: Vision & M: Method & W: Work Hard

千葉市立轟町中学校
学校だより第1号
令和4年4月6日

今学んでいることと将来はつながっている

校長 豊川 ますみ

今日から新年度が始まりました。新たな気持ちで学校生活をスタートさせようとしている人もいますので、「勉強すること」について改めて考えみましょう。

皆さんは、学校に来て勉強をしている意味を考えたことはありますか？

テストで高い点数を取るため？ いい高校や大学に行くため？

中学校は義務教育だから？ 勉強しないと家の人に怒られるから？

どれも間違いではないかもしれませんが、私は、勉強とは「考え方」を習得して、自分の人生を自分らしく豊かに生きていくためだと思います。

もし、勉強がテストや進学のためにするのなら、「受験」が終わったら終わりになります。

しかし、仕事をしていれば、資格をとったり、昇進したりするための勉強や試験もありますし、新しい情報を取り入れながらより良い仕事をするための勉強もあります。先生たちも、研修会に参加して、皆さんのためになる授業などの勉強をしています。仕事とは関係ないことでも、世の中の情報や技術は次々に更新されていくので、新聞記事やニュースなどでその都度自分の知識をアップデートさせる必要があります。ですから、勉強は一生続きます。

そして、生活していれば様々な問題がでてきます。どうすればいいかわからないことがあった時に、今まで学んだことを生かしたり、解決するための考え方を活用したりすれば、新たな問題でも解決できると思います。

ですから、学んだことがそのまま生かされるとは限りませんが、勉強（学習）に向かう姿勢や、ものの見方や考え方を学んでおけば、学び続けることができるし、将来起こりうる困難にもくじけず柔軟に立ち向かい、より良い生活ができるはずです。そのために今、皆さんは勉強をしているのです。

そしてもう一つ、中学校では様々な教科に分かれて勉強をしていますが、学んだことを他の教科や様々な場面で活用できるよう意識してほしいと思います。

例えば、修学旅行や校外学習に行った後に、壁新聞を作るという場面で、印象的な見出しや文章を作る力は、国語で身に付けた力を発揮できます。活動の様子が一目でわかるように絵を描く時には美術、地図を活用してわかりやすく示すためには社会、理論的に表したいときは、数学で学んだ表やグラフを作る力を活用する、などです。

このように、勉強したことを様々な場面で積極的に活用することで、より一層自分の力が伸び、得意なことや適性が見えてくると思います。そうすれば、どんな場面で自分の力が発揮できるか、将来どんな仕事に向いているのかを知るきっかけにもなります。

これらのことから、勉強すること（今学んでいること）が、自分の将来とつながっていることを意識して、授業や行事などに取り組んでみましょう。